

# 支援制度をつかってリフォームすると

## Aさんの場合



耐震基準が新しくなる前に建てた家だから、しっかり補強して大地震に備えたい

### 耐震 リフォーム

リフォーム工事費……………250万円(※3)

- 柱・壁などの補強

工事費全額を所持金にて支払う(借り入れなし)場合

市区町村の耐震改修補助……………-50万円(※1)

所得税額控除(耐震改修促進税制)……………-20万円(初年度のみ)

実質支払総額……………180万円(※2)

耐震工事なら

70万円  
おトク!

## Bさんの場合



高齢になってきた主人のために、風呂やトイレ、洗面所に介助のスペースが欲しいわ

### バリアフリー リフォーム

リフォーム工事費……………140万円(※3)

- 浴室、トイレ、洗面所の間取り変更

140万円を借り入れ、10年間で返済する場合(借入金利率年2.94%として試算)

支払総額(ローン返済総額)……………約162万円

所得税額控除(バリアフリー改修促進税制)……………最大約-11.5万円(控除期間5年間の合計)

実質支払総額……………約150.5万円(※2)

バリアフリーで

11.5万円  
おトク!

## Cさんの場合



冷暖房にあまり頼らない冬暖かく、夏涼しい家にリフォームしたいな

### 省エネ リフォーム

リフォーム工事費……………200万円(※3)

- 床・壁・天井に断熱材、サッシ及びペアガラスに交換

200万円を借り入れ、10年間で返済する場合(借入金利率年2.94%として試算)

支払総額(ローン返済総額)……………約231万円

所得税額控除(省エネ改修促進税制)……………最大約-16.4万円(控除期間5年間の合計)

実質支払総額……………約214.6万円(※2)

省エネで

16.4万円  
おトク!

## Dさんの場合



わが家も古くなったし、この際まとめて耐震やバリアフリー、省エネにも配慮したリフォームをしようかな

### 耐震 + バリアフリー + 省エネ リフォーム

リフォーム工事費……………550万円(※3)

- 柱・壁などの補強(Aさんと同じ)
- 浴室、トイレ、洗面所の間取り変更(Bさんと同じ)
- 床・壁・天井に断熱材、サッシ及びペアガラスに交換(Cさんと同じ)

50万円を自己資金、500万円を借り入れ、20年間で返済する場合(借入金利率年2.94%として試算)

自己資金……………50万円

ローン返済総額……………約662万円

支払総額……………約712万円

市区町村の耐震改修補助……………約-50万円(※1)

所得税額控除(耐震改修促進税制)……………約-20万円(初年度のみ)

所得税額控除(バリアフリー改修促進税制、省エネ改修促進税制)……………最大約-33.1万円(控除期間5年間の合計)

実質支払総額……………約608.9万円(※2)

3種をまとめれば  
工事費も割安で  
おトクもBIG!

103万円  
おトク!

※1 お住まいの市区町村により異なります。 ※2 このほか、固定資産税についても減税措置があります。 ※3 工事費はイメージです。

さらに(独)住宅金融支援機構の「高齢者向け返済特例制度」を利用すると、借入に対する毎月の負担は利息分のみ! ※元金はおむくなりになったときの一括返済

毎月の負担は  
利息分のみ!